

紫友同窓会まち歩き 第48回

まち歩き 10周年企画

この10年の移り変わり

向島界隈のまち歩き

第一回の「向島界隈：ディープな下町を歩く」に戻って、10年の移り変わりを見てみようという企画です。初めて向島をまち歩きする方、最初に歩いた方も10年前を思い出しながら、その様変わりしている所を見ると面白いかと思います。

<10年を振り返ると>

2014年師走の「まち歩き・忘年会」も終わり、まち歩きを始めて10年が経過しました。第1回のまち歩きは10名の参加から始まり、今年最後のまち歩きは30名になり、85周年会のML登録リストは68、重複登録を除くと62名になります。メールを使わない方を含めるとまち歩きメンバーは約70名、卒業範囲も011～039と約30年という広がりになっています。

日時：2015年 2月14日(土)

集合時間：2時

集合場所：押上駅地下広場

参加者：27名参加

案内人：020 川口

アシスト：017 吉田

懇親会：魚喜代（10年前の第一回打ち上げのお店）

懇親会参加者：23名

■まち歩き行程

押上駅地下広場 → スカイツリー → 牛嶋神社 → 隅田公園 → 言問橋、川沿いに北上し、桜橋（X型の歩専橋） → 向島に入り向島花街を北上 → 鳩の街 → 向島百花園・白髭神社は・・・ → 時計博物館 → 白髭防災団地 → 打ち上げ 魚喜代

<10年前の行程は>

第1回は、2005年1月15日 雪の中 向島界隈・ディープな下町を歩く をテーマに案内人 020 川口さんで実施されました。コースは次の通りでした。

東武曳舟駅 → 京島 → 隅田川・桜橋 → 向島花街 → 鳩の街 → 地藏坂 → 向島百花園 → 東向島（旧玉の井） → 魚喜代

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。なお、写真提供は、017 の柴田さんと 027 戸叶さん、企画やコメントは020 の川口さんです。

① 東京スカイツリーを見上げながら

押上駅地下広場集合。



東京スカイツリーを見上げながら西に向かう。



東京スカイツリーは、2008年 7月に着工し、2011年 12月竣工(完成)で、2012年 5月に

電波塔・観光施設として開業した。

まち歩きでは、2011 年 7 月 30 日にはまだ建設中のスカイツリーをクルージングで見学、2011 年 12 月 3 日には再度ツリー周辺をまち歩きし、進行状況を確認した。既に登った人も多いかもしれないが、まだまだ混んでいるとの情報があり、今回のまち歩きでの事前登頂をあきらめる人もいた。



東京スカイツリー駅そばの源森橋から眺め、ついでに集合写真を撮る。



混雑して顔が見えない人も数人いる。アリバイは大切。

② 隅田公園と牛嶋神社

墨田公園には牛嶋神社があり、中央の鳥居の左右に小さい鳥居の付いた三輪鳥居（三つ鳥居）がある。しばらく見学。



本殿前には全国的に珍しいといわれる「狛犬」でなく「狛牛」や「撫で牛」がある。

「撫で牛」とは、自分の体の気になる部分をさすり、次に牛の座像の同じ部位に触れると、病気が治るとされている風習だという。

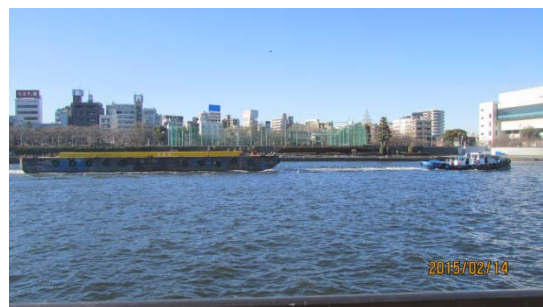


おみくじにもいろいろとあるよう。恋文くじ、鳩みくじ、桜咲くみくじ等々。



③ 墨田川沿いに北上

言問橋を過ぎ、墨田川沿いに北上して桜橋（X型の歩専橋）に向かう。まだまだ寒い。



④ 向島花街（向島5丁目）

向島に入り向島花街の料亭、美家古や桜茶

ヤを外から見学する。

割烹 美家古：ウェブから



向島 割烹 美家古の建物は大正末期のもので、戦争中も焼けずに残りました。文化庁登録有形文化財に指定。

昔は「待合」へお料理の出前や仕出しなどもしておりました。（「待合」は芸妓さんはいるけれど、お料理がないところです。いまでは「待合」はなくなってしまいました）

芸妓は、専属の2名のほか、他からお呼びすることもあります。ですが、やはり美家古らしさというか、こちらへいらして下さったお客様は、専属の芸妓を好まれる場合が多いですね。

桜茶ヤ：ウェブから



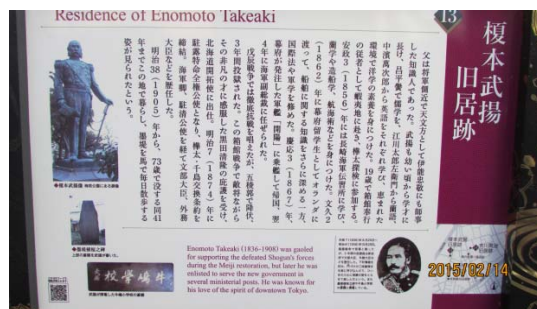
昭和8年に先々代が墨田公園が桜の名所ということと、皆様の意見より「桜茶屋」という店名で開店しました。字画より後に現在の「桜茶ヤ」という文字に改名しました。

「桜茶ヤ」ではお客様を楽しませるために日々芸を磨いている芸者が常時15～20名ほどおります。

敷居が高いという声より「桜茶ヤ」では料金を体制化し、リーズナブルな価格でサービスを提供しております。またお客様のご

相談にも応じさせていただきます。

非凡な才能があったと言われる榎本武揚旧居跡の案内板を見て鳩の街通りへ入る。



⑤ 鳩の街：東向島1丁目

鳩の街通り商店街を見学しながら進む。



以下は、2005年4月2日の第2回まち歩きは、桜向島 その2で実施されている。その報告書からの抜粋です。

昔の赤線地帯は派手派手な色のタイルが使われていて、それが一部残っている。昭和20年3月の東京空襲で玉の井などの娼婦街は焼けてしまった。その近くで焼け残っていた寺島一丁目（現東向島）に移転して誕生したのが「鳩の街」です。



特にこの街はカラフルな色タイルで飾

った家が多くあり、特徴を出しています。
また、木の実ナナが生まれ育ったのがこの東向島（当時は寺島町）です。

写真も 2005 年 4 月 2 日のもの。

⑥ 向島百花園、白髭神社は・・・

日本一きびだんごのリヤカー屋台が門前で
商売をしていた。



時間も不足してきているので、百花園は門
前まで、さらに白髭神社の脇を通り 次の目
的地に急いだ。

⑦ 時計博物館：セイコーミュージアム

1981 年に開設された施設。オリンピックで
使用されている競泳のタイムを計る機器等
がある。



⑧ 白髭防災団地：都営白髭東アパート

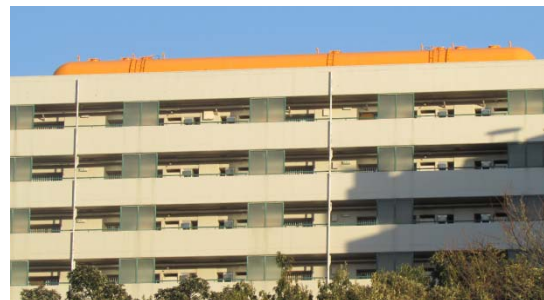
隅田川と荒川に挟まれた「江東デルタ地帯」
に造られたこの都営団地が完成したのは
1979 年。隅田川沿いに建っていて、土手側
は公園になっていて、隅田川神社と梅若塚
がある。梅若塚は下見のときは見学できた
が本日は閉まっており、柵越しに眺めるだ
けだった。

この東白髭公園は 10 万人を避難させるこ
とが出来る防災公園で、付近が大火災にな
った際にはここに住民を収容し、都営白髭
東アパートが体を張って火の手を防ぐとい
うものだ。

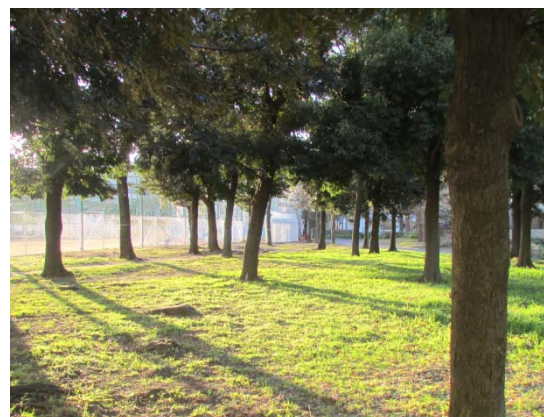
ベランダはいざというときにシャッター
（緑の部分）が降りて、正真正銘一枚の壁
になるそうだ。



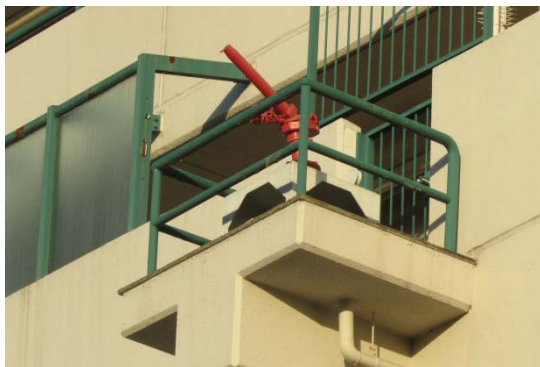
屋上には水のタンクが設置されている。こ
れはドレンチャーという装置で、水の膜を
作って延焼を防ぐ。



防災樹は火災による火の粉や熱風から人
を守る働きがある。シイノキ、シラカシ、マ
テバシイ、ツバキなどの常緑広葉樹を中心
に植えられている。



また、各所に放水銃が設置されている。
シャッターが火災で熱くなるのを防ぐ目的
のようだ。



白髭橋門、水神門、梅若門、鐘淵門等が各
建物の間を仕切ることができる。



ただ、建物の老朽化も進んでいるのでこの
1.2 kmの強大な防壁はもはや本番で実力発
揮できるか心配され始めているようだ。

次の地図は ウェブから。



⑨ 懇親会魚喜代

10 年前の第一回打ち上げのお店魚喜代で懇
親会を始める。

23 名全員の写真が載っています。





< 10 周年向島まち歩き案内人の感想 >

10 年前の 1 月、柴田さんからのご要望でまたま近くに住んでいた私が、向島界限を案内したことから、85 周年会まち歩きが始まりました。あの時、想像だにできなかったスカイツリーが、高くそびえ多くの人々が集っているところを見ると、十年一昔とはよく言ったものです。

10 年間で大きく変わったものもあり、また隅田川の流れのようにまったく変わっていないものもありました。

雪の中を歩いた後に頂いた、つみれ汁の温かさが印象的だった同じお店で、また 10 年後に懇親会が出来たことは、とても感慨深いものがありました。

第 1 回は十数人で始まったまち歩きが、今回は 27 人の大所帯になり、なかなかスケジュール通りには動きませんでした。

時間的に余裕がなくなり途中を端折ったり、下見では開いていたお寺が、閉まっていたりと不手際が続きましたが、皆様には温かい心でお許しいただき感謝しております。

020 川口

